

「能登に住みたい」は権利 被災地支援コンサート



「能登に住み続ける 元気をもらいました」

「被災地支援・新春コンサート」実行委員会（能登半島地震被災者共同支援センターや多様な団体が加盟）は、1月26日（日）に被災地七尾市中島コミュニティセンターで、被災地・被災者支援のクラシックコンサートを開きました。フルートの佐々木真さん、ピアノの丸山美由紀さん、バイオリン

の伊田多喜さん、チェロの伊田直樹さんたちが演奏者として参加、さらに、俊友会合唱団（七尾市市民合唱団）、伊田弦楽塾（百々女木バラック合奏団）の皆さん、多数の方々が参加されました。

被災地の輪島市、珠洲市、能登町、穴水町はじめ、地の七尾市、羽咋市、中能登町などの奥能登から、被災者中心に、約300名が参加されて、癒しと元気をもらいました。実行委員長の井上英夫（金沢大学名誉教授）があいさつをし、「能登に住み続けたいと願う

コンサートのフィナーレで拍手にまつまれる演奏者たち



俊友会合唱団（七尾市市民合唱団）

みなさんの権利を確立していく第一歩にしていきたい」と話されました。コンサートは、2部構成で、「シヨパンの英雄ポロネーズ」など8曲の演奏と合唱団の皆さんの合唱、伊田弦楽塾の子どもたちの演奏、最後に会場の参加者全員で「ふるさと」を合唱、盛沢山の催しでした。茶谷義隆七尾市長も鑑賞していただきました。参加者の皆さんは、クラシックの素晴らしい音色と合唱団の歌声、伊田弦楽塾の子どもたちの演奏に聞き入り、「やさしい音色に本当に癒されました、音楽ですばらしい。こんなにもみんなの思いをひとつにできる、皆さんの思いが伝わってきました。ありがとう

ございました」との感想も。「心一つにみんなが能登の復興を目指す」「能登で生きる決意に満ちた」取り組みとなりました。



伊田弦楽塾の子どもたちの演奏

演奏者のご紹介

●フルート 佐々木真さん（フルート協会前会長）

●ピアノ 丸山美由紀さん（富山県を中心に日本で活動）

●バイオリン 伊田多喜さん（金沢市生まれ。現在は金沢市にてチェリストの伊田直樹さんと伊田弦楽塾を毎月行い、200回のコンサートを開催）

●チェロ 伊田直樹さん（現在金沢の自宅でパートナーの伊田多喜さんと一緒に気軽にコンサートを開き、日本で最も機嫌の良いチェリストと評判）

（伊田直樹さんと伊田多喜さんと一緒に気軽にコンサートを開き、日本で最も機嫌の良いチェリストと評判）